

『Go to ケンケツ！』

献血新聞

第2号 ー小野高先生編ー 目指せ第3号まで

発行者：3年 佐藤海斗・村上倭磨・館弘太 発行日：2021年11月5日

僕たちは、新聞の記事を見て献血不足について知りました。血液は、人工的に作ることができないため、人の協力が必要です。そのため僕たちは、3年次の課題研究を通して献血協力者を増やすための活動をしたいと考えました。

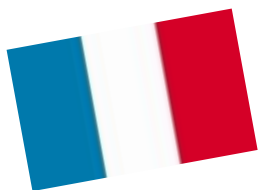
今回は世界の献血などについて、インターネットで調べてみました。

▶世界の献血

<http://goto-kenketsu.jp/world.html> より



アメリカの献血はボランティアではなくお金の出るものになっています。よって、ホームレスなどのお金のない人たちが必要以上に献血をしてしまい健康不良になるケースが多く、悪循環が起きている。



現在フランスでは献血をするために使用されていた機械が献血者に健康被害をもたらすとして300台を停止させるなど、献血者や量ではなくシステムそのものに対する不安が広がっています。



台湾では、献血における問題点は非常に少ないです。献血をしたことのある人数は700万人を超えており全人口の約3人に一人の割合を超えています。これは先進国のレベルを上回る割合です。

小野高生からの疑問→▶献血した血はどのくらい持つのだろうか？

答え※日本赤十字社 https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/bbc/special/m6_03_06_20160202-6.html より

血液には生きている細胞が入っているので長期保存ができません。

「赤血球」は採血後 **21日間**、「血小板」は採血後 **4日間**、「血漿」は凍らせて採血後 **1年間**です。そのため、絶えず多くの方の献血協力が欠かせないので。

▶献血に関するアンケート結果（小野高校の先生45人に協力してもらいました！）

- (1) 献血したいと思いますか？→はい36人・いいえ9人
- (2) 献血をしたことはありますか？→はい29人・いいえ16人
- (3) どんな献血をしたことがありますか？
→成分1人・200ml7人・400ml15人・全部4人・未経験者18人
- (4) 小野高校に献血バスが来たら献血しますか？→はい22人・いいえ18人・その他5人
- (5) 献血をしたことがある方は、初めて献血をした感想をお願いいたします。
- 血を抜かれるので、**献血後安静に努めた**記憶があります。こわいとか、イタイとかの感じはなく、逆に初めての献血に**興味深々**でした。飲み物→飲み放題。お菓子→食べ放題が**うれしかった！**
 - 高校生の時、献血バスでした。図書カードと歯磨き粉をもらってちょっと嬉しかった。**
（今は金券はもらえない）
 - 注射が苦手だったので怖かったが、**実際にやってみると平気**
 - 思ったより負担がない**
 - 脱力感がありました。不安もありました。でも誰かに**貢献している気持ち**になりました
 - 人助けになったと思い**嬉しかった。**
 - 人の役に立つんだなあ〜♡
- (6) 小野高の先生方の血液型
→第1位A型16人・2位O型13人・3位B型10人・4位AB型5人・その他1人
- (7) 10代・20代で献血に協力してくれる人を増やすにはどうしたら良いと思いますか？
- 献血をした**血液がどのように役立っているか**を広報する必要がある。
 - 高校生のPR**
 - 献血の良さを伝える**
 - アニメやゲームと関連づける、魅力的なプレゼントを付けるなど
 - SNSやメディアで積極的に宣伝する。
 - 東京にある**おしゃれな献血ルーム**のような場所を増やす！おすすめは新宿。（飲み食べ放題、マッサージとかしてもらえるよ）
 - 気軽に入れる雰囲気（インターネット、漫画、カフェ）
 - 安全性**
 - ポイント制にする。
 - 学校で献血の大切さを教える。**保健の時間にたまに話す。
 - 高校に献血バスを呼ぶ。（夏休みや冬休み）
 - “どこで”** =Where **“いつ”** =When できるかがわかるようにしてほしい。献血できる人にも条件がある？と聞いたことがあるが不明確…**もっと情報がほしい**
 - SNSで人気のある芸能人が呼びかける。献血している動画を流す。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

★自分たちが先生方にアンケートをして思ったことは、献血に積極的で素晴らしいと思いました。アンケートの(7)では、大人じゃないと思いつかないような発想を書いていただき自分たちもとても参考になりました。

次回、献血新聞—第3号—インタビュー編 つづく